

2014年3月3日
華為技術日本株式会社

ファーウェイ、MWC2014 でテレフォニカと UNICA インフラストラクチャ・アーキテクチャ、SDN、NFV を推進する覚書に調印

世界有数の ICT ソリューション・プロバイダーであるファーウェイ(中国語表記:華為技術、英語表記:HUAWEI)は 2014 年 2 月 26 日、モバイル・ワールド・ कांग्रेस(MWC)2014 で、ファーウェイとテレフォニカは、UNICA インフラストラクチャ・アーキテクチャ、SDN(Software-Defined Network)、NFV(Network Functions Virtualization)を推進する覚書(MOU)に調印しました。この戦略的協力がテレフォニカのネットワークを進化を推進する基盤となり、業界のよい事例となることを期待します。

また、MWC2014 に合わせて開催されたセミナーでは、クラウド・ベースのオープンな通信ネットワークのビジョンを明らかにしました。セミナーでは、クラウド技術の進歩を通信ネットワークに応用してリソースの共有と効率の向上を進める方法が披露されました。

ファーウェイの徐直軍(エリック・シュー) 輪番 CEO は次のように述べています。「以前の IP 技術の時と同様、クラウド・コンピューティングは通信業界の状況に変化をもたらしています。将来のネットワーク・インフラは、データ・センター中心、ソフトウェア定義、仮想化、オープン・クラウド、ICT コンバージェンスの方向に進む見通しです。ネットワークのこのような変革の中では、Cloud OS が大きな役割を果たします。ファーウェイの FusionSphere は NFV とクラウド・データ・センターの最高の選択肢であり、業界全体との連携により、オープンで高性能、低遅延の ICT インフラストラクチャを実現します。」

セミナーでは、著名なアナリストと業界有数の通信事業者が知見やアドバイスを提供しました。OpenStack Foundation(オープンスタック・ファウンデーション)のエグゼクティブ・ディレクターを務める Jonathan Bryce(ジョナサン・ブライス)は、通信事業者がクラウド・ベースのサービスを提供することの戦略的重要性と本質的利点について語りました。コード面と通信業界での普及面におけるファーウェイの OpenStack コミュニティへの貢献についても言及がありました。OpenStack のようなオープンで柔軟なクラウド・プラットフォームによって、通信事業者は TCO(Total Cost of Ownership: 総所有コスト)を抑制しながら規模拡大のニーズに対応できます。

※ 本参考資料は 2014 年 2 月 26 日(現地時間)にスペイン・バルセロナで発表されたプレスリリースの翻訳版です。

【ファーウェイについて】

ファーウェイ(中国語表記:華為技術、英語表記:Huawei)は、世界有数の ICT ソリューション・プロバイダーです。お客様志向のイノベーションとお客様との強い信頼関係により、通信事業者向けネットワーク、端末、クラウド分野におけるエンド・ツー・エンドの競争優位性を確立しています。ファーウェイは通信事業者、企業、消費者の皆様へ最大の価値を提供すべく献身しており、競争力の高いソリューションおよびサービスを 140 か国以上で提供し、世界人口の 3 分の 1 にもおよぶ人々の ICT ソリューション・ニーズに応えています。

詳しくは、当社ウェブサイト:<http://www.huawei.com/jp/>、ツイッター(英語):
www.twitter.com/huaweipress、および、YouTube(英語):
<http://www.youtube.com/user/HuaweiPress> をご覧ください。

【問い合わせ先】

ファーウェイ・ジャパン(華為技術日本株式会社)
ソリューション&マーケティング本部 菅家
Email: mika.sugaya@huawei.com
URL: <http://www.huawei.com/jp/>